

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。

甲は、自らの事業、所属する

会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

ホールの癖パターン一覧

こんにちは、だてめがねです。

今回のプレゼントは「[ホールの癖一覧](#)」です。

ホールの癖はどんなものがあるのか？は、
一般ユーザーには意外と知られていません。

特に天井狙いでは「オカルト」扱いされる風潮もありました。

「凹み上げなんて…オカルト！」といった感じですね。

まあ実際にオカルトで打たれる方もいるのですが、
実際に凹み台に高設定を使いやすいホールもあります。

ここでは今一度、**ホールの癖にはどんなものがあるのか？…**をまとめていきます！

ホールの癖のパターンを知っているか知らないかでは、設定狙いの精度は大きく変わります。

設定狙いのプロにしてみれば基本・土台の考え方になりますので、絶対に知っておく必要があります。

ぜひ覚えて、あなたのホールの設定傾向を調べてみてください。



末尾系



【末尾〇】

末尾5(215)、末尾ゾロ目(211)、ゾロ目(333)など。

毎回イベント日に「末尾⑦に入りやすい」というホールもあれば、毎日「強い末尾」が変わるホールも。

初心者でも狙いやすいが、ガセに注意。



場所系



【角系】

角・角2・角3など。角は稼働の低い日、過疎店に多い。

マルハン=角のイメージも密かに定着(いやらしい店舗は裏を書く)

【ミラー (対角)】

角2が高設定だったら、向かい合う島の逆側の奥角2が高設定…など。

たまに外したりして、稼働の底上げを狙う。

▼イメージ

=====

X○XXXX

XXXX○X

=====

【ローテーション】

一定の期間内、「すべての台に高設定を使いますよ～」とイベントを指す。

もしくは、「高設定を入れた台には入らず、高設定を入れていない台に入りやすい」という癖の考え方の1つ。

派生系として全台系ローテーションもある。

この場合は、1つ以上の機種に全台系をやるけど、一度やった機種はやらないよ～といったもの。

※どの場合においても「一定の期間」はホールやイベントによって違うので要調査。

~~~~

履歴系

~~~~

【ボーナス回数ワースト○位上げ狙い】

カウントのついていない台に入れる。BB・REG・合計などお店による。
お客に「履歴読み」を楽しんでももらうため。
プロに高設定を回してもらうため…など。

逆のパターンももちろん、あります。

前日の設定に関係なく、最も回数の付いている台に設定を入れて「据え置きを演出する」ホールですね。

【差枚ワースト○位上げ狙い】

吸い込んだ台に入れる。1位・2位などいろいろ。
お客に「グラフ読み」を楽しんでももらうため。
プロに高設定を回してもらうため…など。逆もたまにあります。

【回転数ワースト○位狙い】 ←多い！

回っていない台に多い。1位・2位などいろいろ。
プロに高設定を回してもらうため…というよりは、稼働の低い場所を作りたくない！…というバランス思考からくるものが多い。
※これの応用として、「回転数ワースト機種に全6をしやすい」ホールもままある。
逆もあります。

【高設定不発狙い】

高設定で不発だった場合、
次の日も高設定になりやすいパターン。

好きな設定師は本当に好きですが、
こういったわかりやすい部分は外してくる設定師も多いです。

据え置きについても、打ち直しの場合もあれば、
リセットをかけない場合もあります。

…どのパターンでも、ホールの思考を逆読みするのが大切。
基本的にホールは稼働をつけたい、わけです。
その前提で、このホールは何をしたいんだろう？と常に考える癖をつけると、
癖を見抜ける速度も大幅に向上します。

回転数があまりついていないところに設定を入れるホールは、確率的に回りにく場所に高設定を入れることで「全台回ってくれる」ことを期待します。
繁盛店で角に設定が入りにくいことが多いのは、それが大きな要因だと私は
思っています。

逆に角によく入れるホールは、もともと座りやすい角に入れる時点で、全体の
バランスの意識が比較的低いので、差枚ワースト上げは微妙。

「高設定をどうしても埋もれさせたくない！」という意思が働いていますね。
稼働の弱い立ち上げ初めの過疎店に多いです。

とかとか、そうやって
「ホールはどういった運営をしていきたいのか？」
を読んでいくと、見えてくるものもあります！

癖フィルターに関して、もっと言うなら、
【とある台を軸にする】という考え方もあります。

例えば、ワースト台の左2個飛ばしなど…

あとは、高設定のスライド（前日入った台の横に入る）とか、
ローテーション（1度入った台にはと一定の期間まで入らない）、
目立つところにいつも入れる（過疎店の出玉アピール）（角とは限らない）、
目立たないところにいつも入れる（繁盛店のイベント稼働率最大化狙い）
店長の好きな機種にやたら入れる（バラエティ押し店舗に多い）などなど。

そうそう、1ヶ月の差枚ワーストとか、
1週間の差枚ワーストとか、そういうのもあります。

出玉伸び悩み高履歴台は、
「高設定の不発据え置き風味上げ」の場合と
「本当に据え」の場合がありますが、
前者のほうが多い印象です！！

これは「一般ユーザーに高設定を掴んでほしい」という気持ちの現われと、
通常日にもあたかも設定が入っていると思わせたい…というブラフです。

もちろん、高設定据え置きもあります！
設定6→設定4もあるので、これは注意です。

パターンもですが、「考え方」を是非マスターしてみてください(*^^*)

いかがだったでしょうか？

知識だけで済んでしまっても意味が無いので、ぜひ近隣の高設定が入るホールをチェックしてみてください。

フィルターが有るのと無いのとでは、見えてくるものが大幅に違うはずです！

一台でも多く、高設定を掴んでいただければ嬉しいです。

チャレンジされる方を応援してます。

がんばっていきましょう！

それでは、最後までお読み頂き、ありがとうございました！

引き続き、メルマガ本編もお楽しみに。

だてめがね